



研究者による

ディスカバリートーク

4月



日程	時間	講師	テーマ	概要	会場
5日(土)	※11:30~ ◆ライト◆	動物研究部 谷藤 吾朗	1+1=1 細胞内共生のはなし	別々の生物が合体して一つの生物となる、細胞内共生のお話をご紹介します。	地球館3階 講義室
	※※14:30~	生命史研究部 久保田 好美	一億年の気候変動	小さな化石からわかる過去1億年間の気候変動の話をわかりやすくお伝えします。	地球館3階 講義室
6日(日)	※11:30~	理学研究部 室谷 智子	地球での自然現象を測ろう	開催中の気象業務150周年企画展「地球を測る」の見どころについて紹介します。	地球館3階 講義室
	※※14:30~	植物研究部 細矢 剛	人獣共通感染症って何?	最近注目される動物と人間に共通した真菌類の人獣共通感染症についてお話します。	地球館3階 講義室
12日(土)	※11:30~	生命史研究部 芳賀 拓真	木をたべる貝のはなし	浜辺でみかける穴のあいた木と、そこに見られるユニークな生き物について、貝を中心に紹介します。	地球館3階 講義室
	※※14:30~ ◆ライト◆	動物研究部 清 拓哉	皇居のトンボ相	東京都区部に残された大型都市緑地である皇居において、どんなトンボが生息しているかを解説いたします。	地球館3階 講義室
13日(日)	※11:30~	植物研究部 北山 太樹	海藻の多様性	アオサ、ミル、コンブ、ワカメ、モズク、テングサ、トサカノリなど「海藻」と呼ばれる生物の色や姿や起源や生き方の多様性について解説します。	地球館3階 講義室
	※※14:30~	動物研究部 西海 功	鳥の分類はなぜ変わったか	日本鳥類目録が改訂され、キジが固有種になるなど鳥の分類が大きく変わりました。どこがなぜ変わったのかを解説します。	地球館3階 講義室
19日(土)	お休み				
20日(日)	※11:30~	生命史研究部 瀧上 舞	同位体地図と生物考古学	同位体地図と呼ばれる地図の作成が、近年の中南米の生物考古学分野で盛んにおこなわれています。この最新研究についてご紹介します。	日本館2階 講堂
	※※14:30~ ◆ライト◆	産業技術史資料 情報センター 前島 正裕	伝えるって難しい	科博においてになる小さなお子さんからシニアの方々まで、科学、技術やその歴史をわかりやすく伝える難しさをお話いたします。	日本館2階 講堂
26日(土)	※11:30~	動物研究部 井手 竜也	「虫こぶ」をつくる昆虫	草や木につくられる昆虫たちの秘密の巣「虫こぶ」について、写真や映像、標本ともにご紹介します。	地球館3階 講義室
	※※14:30~	生命史研究部 木村 由莉	科博の化石どうぶつ	科博に展示されている哺乳類化石について紹介します。	日本館2階 講堂
27日(日)	※11:30~ ◆ライト◆	理学研究部 門馬 綱一	鉱物のミクロな世界	小さな鉱物を拡大すると見えてくる、ミクロの美しい世界をご紹介します。	日本館2階 講堂
	※※14:30~	植物研究部 海老原 淳	ハナヤスリ・ハナワラビの仲間のシダ植物	ハナヤスリ科のシダについて、その特徴や多様性と最近の研究成果を紹介します。	地球館3階 講義室
29日(火・祝)	※11:30~	動物研究部 篠原 現人	科博の深海魚コレクション	当館所蔵の深海魚標本がどのように集められ、さらに研究や展示に利用されているかを説明します。	日本館2階 講堂
	※※14:30~	生命史研究部 藤田 祐樹	島に暮らした絶滅シカ	琉球列島で化石として見つかるシカ類の体の大きさの変化や島への適応についてお話します。	日本館2階 講堂

時間：※11:30～ ※※14:30～ 各回約30分程度



◆ライト◆は短め(15分程度)のトークです。

●プラス●は長め(45分程度)のトークです。

定員：日本館2階 講堂 100名・地球館3階 講義室 50名

受付：会場の入口で、開始15分前から受け付けています。(先着順、予約はできません)

対象：どなたでも。小学校高学年以上に合わせた内容です。

◎諸事情により、急遽、中止・変更となる場合があります。

◎トークによって会場が異なります。

◎定員に達した場合はご参加をお断りいたします。